

# 食の安全 農薬の話 VOL.1

中国産冷凍食品の毒物混入事件を期に消費者の購買意識が大きく変わったといえます。

以前は値段を優先的に考えて購入していた人が、最近では産地や表示を確認するようになっていました。

スーパーの冷凍食品の棚には、日本国内で製造されていることを知らせる表示やパッケージには産地での品質管理について説明しています。

少くくらの値段の違いなら安全なものを選択し、逆に値段の安すぎるものには「？」と、注意する人が増えているのではないのでしょうか。



主な品目別食料自給率 (2003年)

品目名	自給率	品目名	自給率	品目名	自給率
砂糖	35%	えだまめ	49%	イチゴ	84%
黒砂糖	25%	アスパラガス	51%	かき	97%
ジャガイモ	66%	かぼちゃ	62%	キウイフルーツ	43%
サツマイモ	94%	ごぼう	69%	グレープフルーツ	0%
ゴマ	0%	しょうが	15%	さくらんぼ	50%
落花生	13%	だいこん	98%	なし	98%
キャベツ	97%	ほうれんそう	97%	ぶどう	38%
きゅうり	93%	レタス	99%	メロン	87%
トマト	55%	れんこん	82%	もも	67%
玉ねぎ	78%	わらび	5%	りんご	62%
ねぎ	91%	たけのこ	8%	レモン	4%
にんじん	80%	とうもろこし	52%	生しいたけ	72%
ピーマン	87%	とうがらし	7%	乾燥しいたけ	31%
ニンニク	38%	しなちく	8%	まつたけ	0%

注) 表の数値は2003年農林水産省資料をもとに作成してあります。



## こんなに低い食料自給率

私たちの食卓に欠かせない野菜や穀物ですが、その多くは輸入に頼っています。

2006年の食料自給率を調べると、大豆は5%、小麦は13%しかありません。おもな品目別の自給率(2003年)を表にしてみました。

ほかにも料理に欠かせない調味料の自給率も大変低いことがわかります。農林水産省の資料を見ると味噌35%、しょうゆ0%、かつおだし88%、中濃ソース39%、トマトケチャップ53%、マヨネーズ3%、からし0%、カレー粉0%です。

私たちの食卓はいつのまにか、輸入食材なしでは成り立たなくなっていたのです。

今回問題になった有機リン系の殺虫剤「メタミドホス」は日本では販売されていませんが、「ジクロルボス」は国内でも販売されて、家庭用の殺虫剤で使用しているものがあります。

もちろん農薬を使用している国は中国ばかりではありません。他の国でも、そして日本でも使われています。農薬がなぜ、どのように、どのくらいの量、使用されているのかなど、農薬についてのお話を次号から紹介したいと思います。

## 食材に付着した農薬や有害物質を除去します。

100%天然素材の除菌 + 鮮度保持剤!

使い方は簡単、2リットルの浄水に1包を溶かした水溶液に浸けるだけで、目には見えない“有害物質”が剥がれてきます。

しかも色の变化でわかるなんてこれはもうオドロキです。

【農薬や汚染物質の除去】  
やさい・くだもの・お米  
精肉・お魚など

【新鮮食材の鮮度保持】  
まとめて洗って、そのまま貯蔵するだけ

【天然素材で除菌・殺菌】  
食器・調理器具・ふきん  
タオル・お部屋など



1g x 30包入り  
販売価格1,029円(税込み)

「安心やさい」